

平成26年10月16日

## 米山月間に因んで

10月は職業奉仕月間でもあり、また米山月間でもありますので、本日は米山記念奨学金についてお話しします。

ロータリー米山記念奨学金は、日本の全ロータリアンが参加し推進している事業で、日本で学ぶ外国人留学生へ奨学金を支給し、支援しています。年間に全国で約700人、これまでに支援した奨学生数は2014年7月現在累計で18,104人になります。事業費は12.4億円(2013年)で、外国人留学生を対象とした民間の奨学金(129団体あります)では国内最大規模です。留学生の出身国は、世界123の国と地域に及びます。

ロータリー米山記念奨学会の「米山」とは、日本で最初のロータリークラブを創立した米山梅吉翁のことです。

米山梅吉翁は、日本のロータリーの父と呼ばれており、1868年2月4日江戸芝田村町で生まれました。米山氏が生まれたのは慶応4年、この年の6月に改元し明治になりました。ロータリーの創始者ポール・ハリスが生まれたのが、1868年4月19日。くしくも、この二人は同じ年に生まれたのです。

米山氏は、5歳で父を亡くし、母親の実家であった静岡県三島市で幼年時代を過ごすことになります。12歳の時に望まれて米山家の養子になります。

1888年(明治21年)、米山氏は渡米して、オハイオ大学ウェスレアン大学を中心に、働きながら学びます。帰国後の1897年(明治30年)、合名会社三井銀行に入社、1924年(大正13年)、三井信託株式会社を創立し、社長に就任します。

米山氏が、東京ロータリークラブを創立したのは、その少し前、1920年(大正9年)の10月20日です。同クラブは、翌1921年(大正10年)4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟認証されました。米山氏は、東京ロータリークラブの初代会長に就任し、日本のロータリーの発展の基礎を築いた偉大な人です。

米山記念奨学金は、最初、東京ロータリークラブのプログラムとして始まりました。米山氏が、生前、東南アジアに深い関心をもっていたことから、ロータリー財団の奨学制度に模して、1年に2名の奨学生を、アジア諸国から招致しようとする計画であった。米山奨学制度は、1952年12月3日に、成案が可決され、翌年2月25日に、募金計画が決定し、目標を260万円において始められました。その寄付第一号は、アメリカ・バージニア州のロータリアン、ウイリー・ネルソンが、寄付したそうです。

そして、現在の組織になったのは、1957年(昭和32年)9月18日に「ロータリー米山奨学委員会」として発足しました。2006年(平成18年)には「公益財団法人ロータリ

一米山記念奨学会」となりました。

ロータリー一米山記念奨学会への寄付金は、個人の場合は所得税、法人の場合は法人税が軽減されます。個人の場合、公益社団法人等に対する寄付として、2000円を控除した残りの金額を所得控除として所得から差し引かれるか、または40%が税額控除されるか、どちらか有利な方を選択できます。税額控除の場合は、控除前の所得税額の25%が限度となります。

寄付をして頂いて、この制度を大いに利用して貰いたいと思います。

本日の会長の時間を終わります。